

## 景 観 用 語 集

### ■ひらがな用語

#### 【あ】

##### 屋外造形物

屋外に設けられた彫刻やモニュメントなど。

#### 【か】

##### 開発行為

建築物の建築などを目的に、土地の区画を分割・統合したり、造成工事をしたり、農地から宅地へ地目を変更するなど「土地の区画形質の変更」をする行為を指す。

##### 街路景観

沿道の建物などで構成されている道路から見たまちなみの眺め。街路景観は、沿道の建物が主になるのに対し、道路景観は、道路そのものが風景の主になる。

##### 基調色

本来は、面積的に最も大きく、背景となるような、基底の色（ベースカラー）の意味。地域の基調色とは、その地域の歴史や文化を反映して地域に根ざしている色や地域全体のイメージを作り出している支配的な色をさす。

##### 拠点

活動のよりどころになる所

##### 近畿圏整備法

近畿圏の整備に関する総合的な計画を策定し、その実施を推進することにより、首都圏と並ぶわが国の経済、文化等の中心としてふさわしい近畿圏の建設とその秩序ある発展を図ることを目的とした法律。

##### 近郊緑地保全区域

無秩序な市街化の防止や、住民の健全な心身の保持・増進、公害や災害の防止、文化財や緑地や観光資源等の保全などを目的として指定される。

##### 景観演出

景観の形成に向け、固有の取組みについて効果をあげるよう工夫すること

##### 景観演出方策

効果をあげる工夫のてだて

##### 景観協定

景観計画区域内の一団の土地の土地所有者等の全員の合意による景観法に規定された良好な景観の形成に関する協定。地域に合ったきめ細やかな景観に関するルールを定め、自主的な規制を行うことができる制度である。

## 景観形成地区

景観計画区域内で特に重点的に良好な景観の形成を図る必要があると認められる地区。景観法及び寝屋川市景観条例に基づき、市長が土地所有者等の意見聞いて指定するもので、景観についての基準が定められる。

## 景観行政団体

景観法に基づく諸施策を実施する行政団体。地方自治法上の指定都市、中核市の区域にあつてはそれぞれ当該市が、その他の区域にあつては都道府県になるが、その他の市町村も都道府県との協議・同意があれば都道府県に代わって景観行政団体になることができる。

景観行政団体は、景観計画の策定・変更と景観計画に基づく行為の規制などの業務を行う。

## 景観計画

景観法に基づき、景観行政団体が良好な景観の保全・形成を図るため定めた計画。景観法の基本となる仕組みであり、

- (1) 景観計画区域、
- (2) 景観計画区域における良好な景観の保全・形成に関する方針、
- (3) 良好な景観の保全・形成のための行為の制限に関する事項、
- (4) 景観重要建造物・樹木の指定の方針

等を定めることとされている。

## 景観協議会

景観法に基づく景観計画区域において、景観に関するルールづくりなど良好な景観の形成に関する協議を行うために設けられた機関。景観行政団体、公共施設管理者、景観整備機構、関係する他の公共団体、必要に応じて公益事業者、住民等の関係者を加えて組織される。

## 景観協定

景観法の規定に基き、景観区域内の一団の土地の所有者、借地権者の全員の合意により結ばれた、良好な景観の形成に関する協定。良好な景観の形成に関する事柄をソフト面まで含めて、住民間の協定により一体的に定めることができる仕組みであり、住民間の契約であるという協定の特質から、景観計画区域や景観地区で定めることができない事柄についても定めることが可能である。

## 景観計画区域

景観法に基づき、景観行政団体が良好な景観の保全・形成を図るため策定した景観計画の計画区域。区域内では景観計画に基づき、良好な景観の保全・形成のため、ゆるやかな規制・誘導が行われる。

## 景観重要公共施設

景観法の規定に基き定められた景観計画において景観重要公共施設とされた公共施設。景

観計画区域内の景観上重要な公共施設について、あらかじめ景観行政団体と公共施設管理者が協議し、同意をした場合、景観重要公共施設として景観計画に位置づけることが可能になる。景観重要公共施設として定められた公共施設は、景観計画に即して整備されることが義務付けられるが、一方で、公共施設の整備法に関して景観配慮の特例規定が設けられ、景観計画との整合が図られる仕組みとなっている。

#### 景観重要建造物

景観行政団体の長が、景観法の規定に基づき景観計画区域内において指定した、地域の景観上の核となるような景観上重要な建築物、工作物。指定された景観重要建造物については、管理行為等を除いて現状変更は、景観行政団体の長の許可が必要となる。

#### 景観整備機構

景観法に基づく景観区域において、良好な景観の保全・形成に関して様々な活動を行う NPO 法人や公益法人等の団体で、景観行政団体から景観整備機構として指定された団体。景観に関する住民の取り組みに関して情報提供等の支援を行うこと、所有者と協定を結び景観重要建造物や景観重要樹木の管理、良好な景観形成に関する調査・研究などを行う。

#### 景観農業振興地域整備計画

景観農業振興地域整備計画は、景観計画区域内にある農業振興地域において、市町村が定めることができ、景観農業振興地域整備計画の区域、区域内における景観と調和のとれた土地の農業上の利用に関する事項などを定める。

#### 景観法

都市、農山漁村等における良好な景観の形成を図るため、良好な景観の形成に関する基本理念及び国等の責務を定めるとともに、景観計画の策定、景観計画区域、景観地区等における良好な景観の形成のための規制、景観整備機構による支援等所要の措置を講ずる、我が国で初めての景観についての総合的な法律。平成 16 年(2004 年) 制定。

内容として以下を定める。

- (1) 良好な景観の保全・形成に関する基本理念や住民、事業者、行政の責務。
- (2) 景観計画の策定手続きや土地利用に係る行為規制。
- (3) 景観重要建造物、景観重要樹木といったランドマークの保全。
- (4) 景観重要公共施設の景観計画に即した整備。
- (5) 景観地区の指定等都市計画との調整。
- (6) 景観協定、景観整備機構等の仕組み。

#### 建築協定

市街地の環境を維持し、よりよいものにしていくため、一定の区域内において権利者の合意のもとに締結する建築基準法に基づく協定。建物の敷地、構造、用途、形態、意匠などに関する自主的な基準を定め、互いに守り合うことを約束する建築基準法に基づく制度。

#### 高 敷（こうしき）

普段は水がなく、洪水時に冠水する河川敷の部分。

故 地（こち）

未開の土地。

護 岸（ごがん）

河岸又は堤防を保護して水害を防ぐこと。また、そのための工作物。

【さ】

里山

人里の近くにあり、薪炭の利用や林業の場として、生活や産業に結びついて維持されてきた森林。人の手が入ることで独自の生態系を維持してきたが、生活様式の変化に伴い、里山の荒廃が進んでいる。このため、各地でボランティア等による保全活動が盛んに行われるようになった。

市街化調整区域

都市計画法に定める都市計画区域のうち、市街化が抑制される区域。宅地造成などの開発は原則として制限される。

敷 際（しきぎわ）

私的空間のうち、道路などの公共空間に接する、公共性の高い部分。

軸

背骨のように貫くつながり。運動・活動の中心。かなめ。

自然環境保全地域

自然環境を保全することが特に必要な地域として環境大臣または都道府県知事により指定される。

自然保水能力

自然の樹木等により、雨水を吸収、受け止めることのできる力。保水能力が弱いと大雨が降れば、土砂崩れ等の被害が大きくなることもある。

修 景（しゅうけい）

建築物の外観や道路・公園等の景観を美しく整えること。

食餌木（しょくじぼく）

野鳥が、餌にする実などをつける木。

心 象（しんしょう）

私たちは心の中に様々な空間のイメージをもっている。心の中にもっている風景を「心象風景」という。また、かつて経験をし、自分の成長と深い関係のある風景を「原風景」という。

親水性（しんすいせい）

河川や池で、水辺に近づける、水に触れられるなど、水との親しみやすさ。

樹林保護地区

規則で定める基準に該当する樹木の集団が所在する土地の区域であって、その美観風致を

維持するために保護を必要とする地区。

#### 森林保全協定

森林銀行制度により、市・緑化森林公社・森林所有者との間で締結した森林保全の協定。

#### 森林法

森林の保護・培養と森林生産力の増進に関する基本的事項を規定する法律。

#### 千石沼（せんごくぬま）

米が多くとれた場所。

#### 袖看板（そでかんばん）

建物の壁から垂直に突き出した看板。

### 【た】

#### 地区

一区画の土地。特定の行政目的のためなどに特に指定された地域

#### 地区計画

良好な市街地環境の保全あるいは形成を図るため、住民の意向に基づいて必要な道路や公園などの施設（地区施設）の配置と建物の用途や形態などの制限を都市計画で定めるもの。

地区計画が定められた地区における建築行為は届け出が必要になる。

#### 透過性（とうかせい）

透視できる性質。威圧感や圧迫感を与えがちな塀や柵などに配慮が望まれる。

#### 透水性（とうすいせい）

水がしみとおる性質。街路樹などの生育や洪水調整のため、舗装等で配慮が望まれる。

#### 都市機能

居住、商業、工業、文化、教育情報、レクリエーション、行政、交通といった都市における様々な活動に対して種々のサービスを提供する役割。

#### 都市基盤整備

都市において市民が快適で文化的な生活を送るために必要不可欠な都市の基幹施設を整備すること。都市基盤施設は、一般には鉄道、道路、下水道、公園などを指すが、大規模な公共建築物を含める場合もある。インフラストラクチャーともいう。

#### 都市計画道路

都市計画法に基づき、都市計画決定のうえ都市計画事業として整備される道路。都市の骨格を形成するとともに、円滑な都市活動を確保し、良好な都市環境を保持するための都市計画法に定める都市施設の一つ。

#### 土地区画整理事業

道路、公園、下水道などの公共施設の未整備な市街地や今後市街化が予想される地区において、道路や公園などの公共施設の整備、改善と宅地の区画や形状を整える市街地開発事

業。「土地区画整理は都市計画の母である」とも言われる。

## 【は】

ひだな

昔、川などで物を洗うとき、一段低くなって洗いやすくなっている洗い場所。

風致地区

風致地区とは、樹林地、水辺などの良好な自然的要素に富んだ地域等を都市計画に基づき指定し、その風致を維持し都市環境の保全を図るため定める地区。

俯瞰景（ふかんけい）

丘の上から市街地を望めるときなどのように、高いところから見下ろした広がりのある景観。

保安林

公益目的を達成するために、伐採や開発に制限を加える森林のことである。農林水産大臣または都道府県知事が森林法第 25 条に基づき保安林として指定される。

防災公園

都市の公園や緑地は本来防災機能を有しており、多くは従来から避難地に指定されている。防災公園は、防災的役割を担う都市公園の中でも、とりわけ高い防災機能を持つ都市公園で国土交通省が整備を推進する公園。

保護樹木

規則で定める基準に該当する樹木であって、その美観風致を維持するために保護を必要とする樹木。

保留地

土地区画整理事業による市街地の整備は、地権者からの土地の提供（減歩）により行われる。減歩により新しく生み出された土地は、道路や公園（公共用地）と売却する土地（保留地）とに分けられる。このうち売却し事業費の一部にあてる土地を保留地と呼ぶ。

## 【ま】

水循環の再生

水は基本的に「降水→土壌水→地下水→地表水（河川・湖沼）→海洋（→蒸発→降水）」という循環系を形成している。水循環には、このような自然のサイクルのほかに、地下水などを汲み上げて各種の用水として使用した後、川へ放出する人工的なサイクルとがある。これらの水循環を系（システム）としてとらえ、人工と自然が調和のとれた健全な系（システム）として再生しようとするもの。

## 【や】

用途地域

都市計画法に基づく地域地区のうち最も基本となるもので、地域に応じて建築物の用途や高さ等の形態についての一定の制限を定めることにより土地利用を方向づけるもの。

#### 【ら】

##### 緑地環境保護地区

緑地環境を形成し、かつ、規則で定める基準以上の面積を有する土地の区域であって、自然的社会的諸条件からみて当該緑地環境を保護することが特に必要な地区。

##### 緑地協定

都市緑地保全法にもとづき、都市計画区域内の一団の土地などの所有者などの全員の合意により、市長の認可を受けて締結される緑地の保全または緑化に関する協定。

##### 緑被率

平面的な緑量を把握するために用いる尺度。地区の緑の環境条件を分析・評価する際に用いる。樹木や芝生の植物で覆われた土地の面積に加え、独立樹等の場合は樹幹投影面積を含めた緑被面積とし、地区面積全体に占める割合をもって緑被率という。

#### 【わ】

##### “わき道” 景観

主要な道路から少しはいった“わきみち”に予期しない何か訴えるような道路軸の景観。

#### 【カタカナ用語説明】

#### 【ア】

##### アイストップ

色や形、場所の特性、周囲の対比などから人の視線を引付けるような際立った物

##### アイデンティティ

他とはっきり区別される相違点が明確になり、その存在が認識されること。

都市におけるアイデンティティとは、他の都市とは異なった個性のことをいう。

##### アクセントカラー

強調色。明快な色や強い色で小面積を強調することで配色全体を引き締める役割を果たす。

##### アドプト制度

アドプトとは「養子縁組をする」という意味。アドプト制度は、道路や河川、公園等の施設について、地元自治会や企業などの団体が自主的に清掃や緑化などのボランティア活動を実施する場合に、行政が協力して支援し、地域の環境美化に取り組むもの。

##### アメニティ

快適性。見て美しい、歩いて楽しいなどのように、精神的な充実感がえられる景観の快適さ。

アルコーブ

塀や柵、植栽などの一部を後退させてふくらみを持たせた空間。

インターロッキング

タイルのように鮮やかな色彩はないが、色や形による変化がつけやすく楽しい雰囲気を出せる。また、滑らず歩きやすい。管理も容易なブロック舗装。

ウォーターフロント

海、川、湖などに臨む土地、水辺地帯、海岸通り、河岸。

エリアマネジメント

一定のエリアを対象に、地域の多くの住民・事業主・地権者等が関わり合いながら、一体となって、地域に関する様々な活動を総合的に進めるもの。開発だけではなく、その後の維持管理・運営（マネジメント）を担っていくことが重要となっている。

オーバーデザイン

過剰なデザイン。機能や施設を盛り込み過ぎたり、形や色に工夫を凝らしすぎて、周辺から浮いている状態を主にさす。

オープンスペース

建物が建っていない土地の総称。公園、緑地、水面、建物前の小さな空間などを含む。

オープンカフェ

街路に面した壁や屋根を取払い、日差しや風を取り込むように設計された開放的な喫茶店やレストラン。

## 【カ】

ガイドライン

政策、施策などの指標、指針。

ケース・スタディ

現実起こった具体的事例を分析、検討し、その積み重ねによって帰納的に一般的な原理、法則を引き出す研究法、事例研究。

コラボレーション

協力、協同、協調、共同研究、共同製作。

コンソシアム

共同体、共同事業体のこと。特定の事業等のために複数の企業等が集まって形成される。

コンセプト

概念、観念、考え。哲学用語でいろいろな分野で総合的な観点、考え方の意で使われる。

## 【サ】

サステイナビリティ

持続可能性（課題として「屋上緑化」などがある。



シビックセンター

市役所や図書館、文化ホール等の公共施設が集積する市民生活の中心となる地区。

シビック・トラスト

ランドマークの保全、地域の再活性化・市民啓発・顕彰等の活動を行なう非営利団体のこと。

シークエンス（景観面から）

移動的な視点からの連続して変化する流れるような眺めをいう。

風景が連続して展開し形成されていくこと。

尚、シーン風景とは、固定的な視点から対象を眺めて、奥行きを知覚できる透視図的な眺めを言い、歩道上に立ち止まっているとか、山頂の展望台などからの景観をいう。

シルエット

建物の輪郭が作り出すかたち。

シンボル景観

地域、場所を象徴し、人々によく知られ、親しまれる景観。

スカイライン

山や建築物などが空を画する輪郭線。一般に遠景ないしはシルエットとして眺められる場合をさすことが多い。

スケルトンインフィル

建物を構造体と内装・設備に分けて設計する考え方のこと。構造を気にせず、ライフスタイルの変化や用途に合わせて自由に内装・設備部分の変更を行うことができる。

ストラクチャー

構造、構成、組立て。

ストリートファニチャー

ベンチ、ゴミ箱、電話ボックスなど屋外の生活空間を演出するために設置される道具類。

セットバック

壁面位置を敷地境界から後退させ、境界領域にゆとりを持たせること。セットバックした部分は建築物を建築できないのみでなく、門や塀、擁壁等を建築することができない。

ゾーニング

都市計画などで用途や機能ごとに住宅地帯、工業地帯などに区画設定をすること。

ゾーン

地帯（周辺一帯）。区域。区画。

## 【ナ】

ネガティブエレメント

景観上の阻害要因、もしくは、景観に寄与しないと思われるエレメント。（要素、成分）

## 【ハ】

### パーゴラ

レンガや木材などで骨格を作り、植物などを絡ませた洋風の棚。

### パノラマ

広々とした見渡す限りの景色。

### ハンプ

道路の一部を盛り上げることにより、車のスピードを減速させるもの。舗装の色彩の変化だけにより、心理的に認識させるイメージハンプもある。

### ヒューマンスケール

建築や外部空間などで人間が活動するのにふさわしく、親近感の感じられる空間のスケール。

### ビスタ

視線が奥行き方向へ誘導されるように建物や並木が並んでいたり、景観が一定方向に軸線を持つように構成されていたり、また、景観をそのように構成されるような手法をいう。

### ビスタポイント（景観点）

視線が奥行き方向を見る様に、建物や並木などが並んでいたり、景観が一定方向に構成されている手法のこと。

### プラットホーム

駅のプラットホームとして日本語として使用されてきたが、駅のプラットホームにさまざまな人が乗っているように、近年、上部のさまざまなものを下から広く支えるグループや機能を指す用語として転用され、学術、地域産業・経済、情報等、さまざまな分野で使用されている。

### プラザ

広場、街の中心ないしは重心にあたる場所。

地域の人々が共有できるシンボル性が広場には求められる。広場に面する建物の1階は、広場と相互に浸透し合うデザインと機能が求められる。

### ファサード

建築物の正面。側面又は背面にも外観として重要な面である場合は、ファサードと呼ぶことがある。

### プロムナード

そぞろ歩く道、散歩道、また遊歩道。

### ペンシルビル

狭小な敷地に容積率いっぱい建てられた細長い建物。

### ペDESTリアン・デッキ

歩行者用のデッキ。歩行者専用道。

#### ポケットパーク

市が位置の空地や建築物前の小広場などを利用して設けられた小公園のことで、規模は小さいがオープンスペースの少ない市街地では魅力的な空間になる。

#### ポジティブエレメント

景観文脈において高い価値が認められ、景観形成の中で積極的に生かしていくべきエレメント（要素、成分）。

### 【マ】

#### モチーフ

動機、創作行為の中心となる内容・主題。

#### モビリティ

移動しやすさのこと。近年、環境問題への対応なども踏まえ、過度な自動車利用から、公共交通等の利用への自発的な変化を促すモビリティ・マネジメントの取組が各地に広がっている。

### 【ヤ】

#### ユニバーサルデザイン

障害者など特定の人のために考案する特別なデザインではなく、すべての人びとにとって使いやすい普遍的なデザインの考え方。

### 【ラ】

#### ライトアップ

夜の景観を演出するために、特庁ある建築物や橋梁、造形物などを照らすこと。

#### ランドマーク

遠くから目立つ高い塔や街角の印象的な建物などのように、地域の目印となるもののことで、シンボル景観にもなりやすい。

#### リストラクチャー

産業構造の変化。

#### レリーフ

壁などに取り付けられた浮き彫り。